

保育おおさか

平成15年7月1日 第335号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

この稿が出る頃には「骨太方針2003」が閣議決定され、発表されているだろう。これは、総理が議長を務める経済財政諮問会議で検討された、政府の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針」の第3弾である。

わが国の国民負担率は平成15年度見込みで36・1%、財政赤字を含めたいわゆる潜在的国民負担率は、同年見込みで既に41・1%にも達している。今後少子高齢化が進む中で、行政サービスをどうしていくのかということが骨太方針の大きなテーマである。

認可保育所に関連する

認可保育所としては、規制改革の観点から、幼保の資格の併有や施設整備の共有化の推進等。地方分権の観点からは、保育所運営費の一般財源化、社会福祉施設整備費補助金の見直し等が盛り込まれたものと思われる。

以下、6月18日に出された原案を元に関連箇所について見ていくことにする。

第2部の「構造改革への具体的な取組」として7つの分野が挙げられ、1「規制改革・構造改革特区」で

「消費者の選択肢とビジネスチャンス・雇用の拡大を図る」ことを目的に12の重点検討事項を掲げている。その中の④に「新しい児童育成のための体制整備」として、「地域において児童を総合的に育み」「新しい児童育成のための体制を整備する観点から、地域のニーズに応じ、就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設の設置を可能とする（平成18年度までに検討）。併せて、幼稚園

の姿の実現に向け」三位一体の改革がうたわれている。具体的には（2）①に工程として、「別紙2の「国庫補助負担金等整理合理化方針」に掲げる」「スケジュールに基づき」「国庫補助負担金については」「概ね4兆円程度をめぐりに廃止、縮減等の改革を行う」としている。「別紙2」には「1重点項目の改革工程」として規制改革の部分と同じく「新しい児童育成のための体制の整備」という項目が

厳しい局面免れぬ

— 今、保育園の存在意義の提言を —

全国青年経営者会 副会長 宮田裕司

と保育所に関し、職員資格の併有や施設整備の共用をさらに進める」としている。これだけを読むと、新しい総合施設の設置が検討されるように読めるが、あくまでも規制改革がキーワードであるから、第3の施設を創設することは考えられず、結局は幼保の一元化を念頭にしたものであることを理解すべきである。

地方分権の観点からは、第2部の6「国と地方の改革」で、「地方自治の本来

あり、その（1）に幼保の総合施設の配置のことが記され、（2）には幼保の資格の併有が記され、（3）に「（1）及び（2）の実現に向けて、関係省庁において平成18年度までに検討するとともに、関連する負担金の一般財源化など国と地方の負担の在り方について、地方公共団体の意見を踏まえ、上の検討と並行して検討を進め、必要な措置を講ずる」としている。全国知事会議等のヒアリングでは

保育所運営費の一般財源化はおおむね賛成であったことを考えると、今後非常に厳しい局面が予想される。更に、3の「改革の期間中における対処方針」という個所の1の（4）（イ）「保育所の調理室の見直し」には「保育所の調理室設置にかかる義務付けについて、その必要性を検討するとともに、保育所等の社会福祉施設に対する施設整備費補助負担金の在り方についても検討する」としている。

調理室の必置規制見直しの議論に、全く異質な施設整備費全体の見直しが含まれていることに注意が必要である。

以上のように保育所についてはさまざまな観点から重点項目とされ、その財源の議論にまで発展していることに強い危機感をもつのである。この改革が直ちに進むとは考えにくい、次世代育成支援及び、地域福祉推進の観点から、それぞれの地域で必要とされる保育所であり続ける実践を行うことはもとより、我々自ら保育所の在り方やその財源について議論し、社会に提言する重要な時機であろう。



七夕の季節になると、子どもたちと天体や星座の話をすることがある。宿泊保育はとても良い機会で、次第に薄暗くなる空を見上げながら星を見つけて子どもたちは大喜びする。

以前、新聞にロシア語通訳の米原真理さんが「真昼の星空」というエッセイを書いておられた。星は昼間も大空にあり、太陽の光に照らされているが、地球がその強烈な太陽光の中にいる昼間には星は見えない。見えないだけで、現実には天体はそこに存在している。いくら現実には存在するものであっても人の目には「見えない真実」があるといった内容だったように思う。

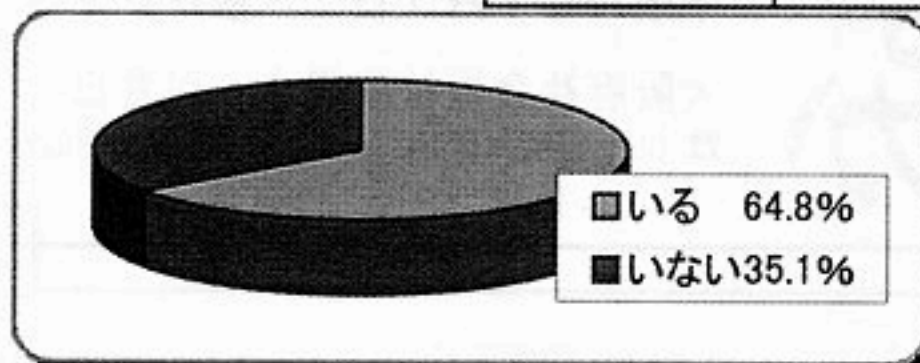
人は、五感を頼りに物事をとらえる。中でも、「百聞は一見に如かず」というように、最も視覚に頼って認識しているらしい。

規制緩和に幼保一元化：保育界も社会の動向に合せ「社会福祉」の名のもと強烈な太陽光が照って「子ども育ち」の真実を見失うことのないようにありたいものである。（K・M）

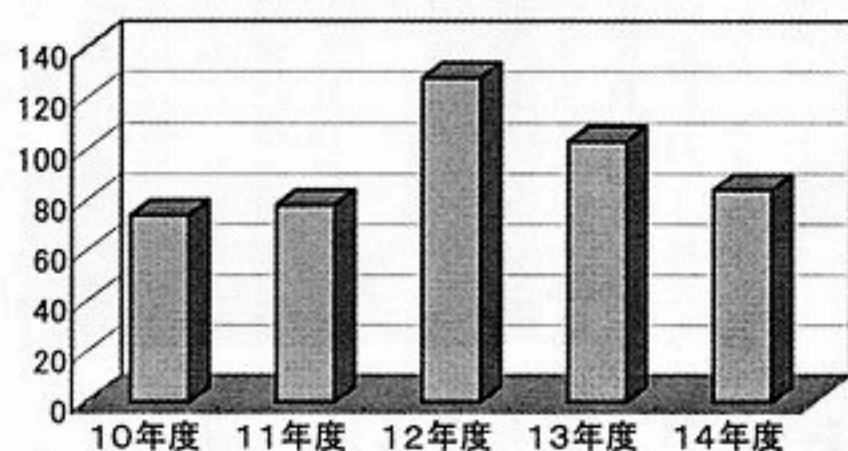
図①

認定証取得者の有無
(会員396保育園中)

いる	64.8%	257
いない	35.1%	139



図② 年度別認定証取得者の推移



10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	累積
74人	78人	128人	103人	84人	467人

ようになります。養成研修は、いわゆる講義形式だけではなく、カウンセリングの基本的な考え方を学び、「体験学習」として目隠し歩き・タッチング、「実技学習」として「聞く聴くきく」をはじめとする書籍の

育て支援担当者研修」の2日間がプラスされることとなります。

図①のように現在府内396か園中、およそ65%の保育園に認定証を持った保育士さんがおられます。全保育園に育児相談員の看板が掲げられる日も、真近な



西田 晃 先生

講読・ロールプレイ、「事例研究」として電話相談の実例を用いたの研究など、9日間で63時間のカリキュラムを持ち、その上に「子



ロールプレイに
苦戦する参加者

ようです。

年度ごとの取得者は、図②のように、平成10年度74人、平成11年度78人、平成12年度128人、13年度103人、14年度84人、累積で467人となっています。

修がスタートしています。内容は、大阪における育児相談事業の生い立ちに始まり、普段からのものの考え方やカウンセリングの変遷、そしてテクニクへと進められていきます。

また認定証取得者を対象にしたフォローアップ研修も、昨年度は全国保育士会会長の武内先生による講演と、養成研修をご指導いただいている育児相談スー

受講者は、まず一極思考と二極思考で自分の偏った考え方に気付かされ、相談者が自分と立場や考え方が違うことを知らされます。

また、現在の育児相談が、アドバイザ型からカウンセリング型に変わってきたこと、アドバイスの良いところと悪いところ、心を開くのは相談者ではなく自分自身であることの難しさに悩

みなながら、聴くことから相談者自身に気づきを促すことなどを学んでいきます。

石原 順子 先生



南 陽子 先生



クと2回に分けて実施され、育児相談員の資質向上、情報交換の場の提供、またリフレッシュなども含めた内容となっています。

養成研修には府内全域から参加されますが、修了する頃には、長い研修を一緒に受講した仲間としての親密さが生まれることも、得がたい経験のひとつになっているようです。

(龍谷保育園 M・T)

心をひらくのは自分自身

— 育児相談員養成研修 —

昭和59年に保育部会による「電話育児相談」が始まりましたが、地域の子育て支援がうたわれる今、特別保育事業であった「育児相談」も、現在では日常業務の一翼を担っています。

育児相談員養成研修は、平成3年・4年・7年度と研修を展開し、平成10年度から更なる内容の充実が図られました。現在、保育部会による「第一期研修：2日間」「第二期研修：7日間」に加え、府社協研修センター実施の「子育て支援担当者研修会：2日間」とこれら3つの研修すべてを修了された方々に、大阪府から育児相談員の「認定証」が交付され、また、育児相談員がいる保育園であることを示す看板(保育部会作製)も掲げることができるようになっています。

老朽改築を終えて 山直南保育園

子どもたちに『関わり』持たせながら

国、府、市の補助金をい
ただいて取り組んだ改築工
事は、思い通り満足のゆく
でき映えとなりました。
かねてから「日本一」の
すばらしい子どもの園をと、
案を巡らせていました。基
本は落ちついた静かな雰
囲のたたずまい。すなわち、



文化度の高い施設を創るこ
と。こうして目標を定め建
築脚が始まりました。
今までに見せていただ
た他園は、何れも「日本
一」自信作のすばらしい施
設ばかりで、大いに参考に
になりました。先ず購入した
隣地のおごそかな地鎮祭。
私はどれも子どもたちに見
せ、関わらせ、これから始
まる大工事の成り行きを見

届けさせたかった。ツチ音
響かせ始まった工事は、毎
日垣間見しながらその工程
が手に取るように見渡せ、
基礎工事も建築も安心ので
きるものでした。
今回、非常に役に立った
ことは、日頃から神社、仏
閣に興味があったことによ
り、それらを業者まかせに
しなかったことです。見事
に建ち上がったこの新園舎
は、定員120人となり、

■今回は、笑いによって痛
みが軽くなった、ガンの
予防までできるという、ま
ことに有り難い医学的なお
話です。
■わたしは「日本笑い学会」
会員です。

こんな学会があるのかと
思いの方もいると思います
が、本当にあるのです。

関西大学の井上宏教授を
会長にして、全国にいくつ

かの支部を持ち、笑いにつ
いて言語学的、社会学的、
また医学的に研究している、
真面目な中にもユーモアの
ある学会なのです。

■この学会の東京支部の医
学部門で、何年か以前にリ
ウマチの痛みに対する笑い
の効用を実験しました。

リウマチの患者さんを1
00人集め、林家木久蔵
(あの「笑点」というテレ

ビ番組で黄色の着物を着た
師匠です」の爆笑落語を聞
いてもらって、その後の痛
みを調べたところ、ほぼ全
員の患者さんの痛みが軽く
なっていたのです。

これは、医学的に言えば、
笑うことでβ-エンドルフィン
という物質がたくさん生
産されたおかげなのです。

落語医者の保育うだうだ話

「笑いの効用」

④

このβ-エンドルフィン
という物質は脳内ホルモ
ンといわれ、われわれの脳
のなかで生産される自然の
鎮痛剤なのです。

すなわち、笑えば、なん
の副作用もない痛み止めの
クスリを、自分で知らない
うちに服用することができ

るということです。ガンが笑
いで防げることを証明しよ
うと試みました。

とということなのです。
よく効いた人は、この実
験のあと2日間も痛みがな
かったそうです。

そんなに効くかと思われ
る人もいます。しょうが、落
語を聞かせた師匠の名前が
「木久蔵(キクゾウ)」

■さて、東京に先を越され
た本部の大阪では、それで

はということ、ガンが笑
いで防げることを証明しよ
うと試みました。

ガンというのは、簡単に
いえば、細胞分裂の時にミ
スが起こり、自分の細胞が
ガン細胞に変わってしまう
ことで発病するのです。

そして、われわれは毎日、

何億、何十億という細胞を
作り替え、新陳代謝をしな
がらながら生活しているの
ですが、残念ながら一日6
千から8千のミスがおこっ
ているのです。

言いかえれば、ガンにな
る可能性のある細胞が、毎
日それだけ生産されている
ということです。

しかし、ここら優しい神
様は、この悪い細胞を食べ
てしまうNK細胞(自然の
殺し屋細胞)という正義の
味方を白血球の中に組み込
んでくれました。

このNK細胞がガンにな
りそうな細胞を食べてくれ
ることで、ガンになるのを

未然に防いでくれているワ
ケです。

■そこで、大阪では吉本新
喜劇を観て、おおいに笑っ
てもらった前後で血液を調
べました。

すると、ガンの人も健康
な人も、ともに笑った後で
はNK細胞が増加している
ことが分かったのです。

このことは、笑えばNK
細胞が増えて、ガンになる
可能性のある細胞をたくさ
ん食べてくれる、そうすれ
ばガンになる可能性は低く
なる、ということです。

ちなみに、この事実ほど
で発見されたかといえ
ばN(ナンバ)K(花月)。

それ以来、われわれの学
会では、NK細胞のことを
ナンバ花月細胞と呼んでい
るといふ事実はありません
が……。ハハハ。(英)

保育部会常任委員会報告 6月10日(火) 2時

- 大阪府から「府民意識調査」協力依頼
(大阪府健康福祉部児童家庭室)
- 調査研究委員会から入会案内
- 保育士国家資格化記念事業について
日程等：10月28日(火) なみはやドーム (参加募集は7月初旬)

第1回保育部会役員会 6月10日(火) 5時～

新役員体制となつてはじめての役員会を開き、合せて大阪府の藤田児童家庭室長と大町施設課長を交えての意見交換も行った。規制緩和により、一層厳しさを増すであろう保育の諸制度に対し、部会が一丸となって対応できるようさまざまな議論が交わされた。

ブロックだより

子育て支援の キーパーソン

一堺ブロック研修会一

堺市民間保育士会は、6月3日堺市総合福祉会館で、神戸親和女子大学文学部寺見陽子教授を迎え「子育て支援についてー親と子のコミュニケーションを図るた



寺見陽子教授

めにー」をテーマに、研修会を開催しました。今の親子は触れ合い方が分からないため、遊びの指導と、親子で多様な経験ができる場の提供が必要である。また、子育てにはコミュニケーションが欠かせないのに、その関わり合いの乏しさが見られることから、保育士は親のニーズ・ストレスなどを受容するカウンセリング的な役割を担い、親子関係がよくなるような努力をしなければならない。今後、子育て支援の地域ネットワーク作りを行い、保育士はそのキーパーソン

保育園をたずねて

307

柏原市

旭丘まぶね保育園

旭丘まぶね保育園は「国分」という地名の通り、大活環境づくりは勿論のこと阪と奈良の境に位置する柏原市の外れにあります。園庭には、カラフルな楽しい遊具がいっぱい。近隣の方にも公園より安全で楽しいと園庭開放は超人気。その日も、たくさん親子が遊びに来られていました。その庭を挟んで同法人立の老人ホームがあり、利用者のお年寄りとの交流も盛んだそうです。



また、乳児の安定した生活環境づくりは勿論のこと、幼児一人一人が自分の興味関心と能力に合わせて楽しめる特別プログラムの豊さに驚きました。スイミングスクール・エアロビクス・剣道・日舞・クッキング・茶道など、15もの教室が組み込まれています。午前中の元気な園児の声が静まると、栄養と愛情たっぷりの給食の時間です。おいしそうな匂いとともにおいしそうな匂いととも祈りが聞こえてきました。(天野山保育園 M・N)

心癒されて

北大阪ブロック総会

になってほしいと話されました。実践を通しての講演で、共感でき実り多い研修会でした。(御池台保育園 Y・K) 北大阪ブロックの総会後

(5月23日大阪社会福祉指導センター)に研修会が催された。今年は「まほろば100」の立花之則先生による「心に花を咲かせよう」というお話であった。

「大和は国のまほろば、たたなずく青垣、山こもれる大和しうるわし」日本武尊(ヤマトタケル)の歌で、そのまほろばである。

何事も感ずれば花開く

「大和は終始美しい、いや美しかった日本の心で貫かれた。今一つの歌は「敷島の大和心を人問はば」で双方とも最近忘れ去られているようであるが、じっくり噛みしめれば光輝く、美しい情景が浮かんでくる。その雰

囲気の中で話は進められた。まず、出合いの大切さから始まった。この出会いとは、すぐ人を思うが、さにあらず、森羅万象の資でさまざまな出会いにより感動が入り、これが人生を変えていくのだとこのことで「感・即・動」感動があるおいややすらぎを支えてくれる。

また良樹細根により、「凡事徹底」すなわち大木もすべてその細かい根により成長する。つまらぬようなことでも手抜きをせず、手間ひまをかけることが成長やゆとりに通ずる。

何事も感ずれば花開く、先生は「ありがとう」とく

新役員紹介は先月号で行ったが、会則変更に伴い、新たに役員として「幹事」という役職が設けられた。また、今までの監事が会計に改正され、同時にブロック役員や常任委員の交代も行われた。



から谷淳司さん(アイビースクール)へバトンタッチ。河内ブロックでは、東大阪市の今西博嗣さん(くすの木)と八尾市の浅井孝男さん(あけぼの)から、会長に西岡成典さん(東東)、副会長に和田秀之さん(さくら)が引き継がれた。また、北摂ブロックでは、高槻市(中核市)から川畑昭夫(柱本)さんが幹事になった。ブロックと部会の活性化のため、一層のご活躍を期待したい。

りかえし唱えておられるようである。感謝を念じられると考えられる。

かくて精神文化の香るうるおいのある暮らし、また自然に包まれたやすらぎのある暮らし、そして時間、物、金に追いまくられないゆとりのある暮らしが先生の願いで、久しぶりに心が癒された。(智島保育園 S・H)

発行所
大阪府社会福祉協議会
保育部 TEL 6762-9001
高岡 編集
水 勝